

オオタ オサム
太田 修

Osamu Ota

講演

研修

学術調査

コメンテーター

所属・職名 グローバル・スタディーズ研究科 教授**研究分野** 朝鮮近現代史・近現代日朝関係史**研究活動** 日本の植民地支配から解放された後の朝鮮半島の歴史は、植民地期の歴史に規定されていたため、その連続面に目を向ける必要がある。同時に、分断や冷戦からも大きな影響を受けていたため、東アジアや世界の歴史の中で理解する必要がある。解放後朝鮮半島の政治・経済・社会・文化の変容の過程を、朝鮮半島内部の歴史展開、日本との関係、東アジアの冷戦という観点から明らかにすることが当面の研究課題である。国家の政治、経済だけでなく、人々の暮らしや思いにも立ち入って、多様な視点からの研究をめざしている。**主要な業績**
(著作・論文・研究発表)
[著書] 『[新装新版] 日韓交渉—請求権問題の研究』クレイン、2015、『朝鮮近現代史を歩く—京都からソウルへ』思文閣出版、2009
[論文] 「朝鮮解放直後におけるある労働者の日常—仁川の電気工I氏の日記から」鄭炳旭・板垣竜太編『日記が語る近代—韓国・日本・ドイツの共同研究』同志社コリア研究センター、2014、「日韓条約—null and void—をめぐる対立を克服するために」和田春樹他編『日韓 歴史問題をどう解くか—次の100年のために』岩波書店、2013**社会活動・その他** NGO「日韓会談文書・全面公開を求める会」共同代表**所属学会** 朝鮮史研究会、歴史学研究会**キーワード** 朝鮮半島、韓国、北朝鮮、日韓・日朝関係、歴史https://kenkyudb.doshisha.ac.jp/rd/html/japanese/researchersHtml/110004/110004_Researcher.html
<https://www1.doshisha.ac.jp/~oota/profile/index.html>